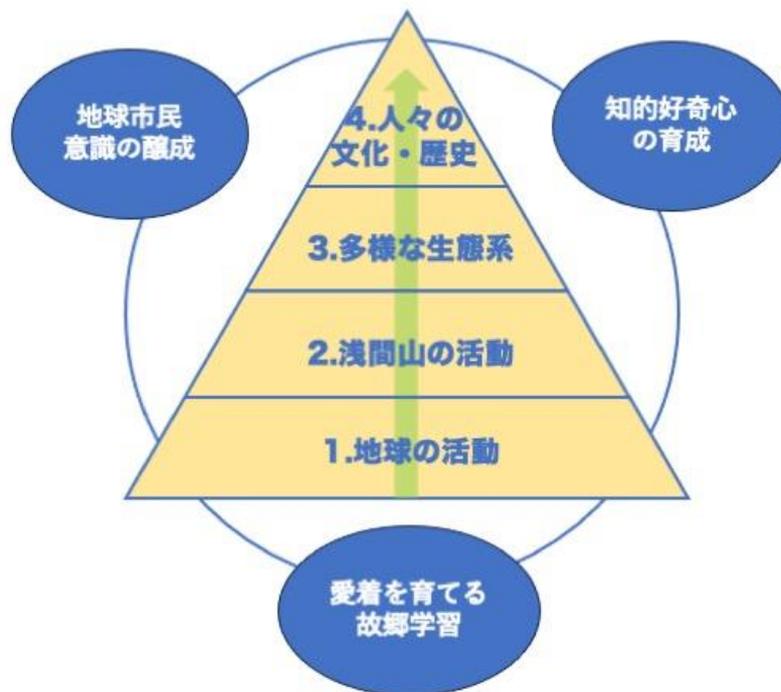


企画書

浅間山ってどんな山？

<浅間山の地形から学ぶ火山史>

<理念と達成目標>



このプログラムでは、4つの学習階層と3つの育成目標を設定しています。

「2. 浅間山の活動を知る」の学習階層にあたるプログラムです。

室内で行います。浅間山の模型や立体的に見える地図を使って、浅間山の形や山の名前を学びます。浅間山の形を確認しながら、浅間山がどのように出来上がったのか、その火山史を学びます。

<プログラム概要>

時間 45分

<学習内容>

1. 浅間山の形を確認しよう

模型または、地図とグーグルアースを使って浅間山の地形について学びます。

※模型の場合は、別途模型を作り時間が必要になります。

2. グループで次の山の名前と位置を確認します。

黒斑山、前掛山、釜山、小浅間山

3. 模型または地図を見ながら、グループで火山の痕跡などがないか探してみます。

子どもたちが見つけた場所を、グーグルアースなどを使って、どんな地形なのか確認します。

4. 浅間山の火山史を黒斑期、仏岩期、前掛期に分けて、スライドを使って説明します。

5. 火山史を振り返りながら、浅間山の複雑な形は、活発な火山活動の結果であることを学びます。